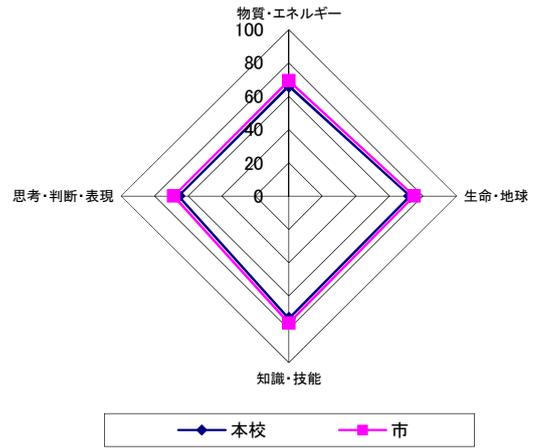


# 宇都宮市立宝木小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	66.2	69.3	65.7
	生命・地球	72.2	74.7	77.8
観点別	知識・技能	73.6	76.2	76.4
	思考・判断・表現	65.8	68.7	68.6

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>本校の平均正答率は、市の平均と比べてやや低い。</p> <p>○電磁石と棒磁石に共通の特徴を指摘する問題の正答率は76.6%と市の平均より6.8ポイント高い。</p> <p>●ふりこの1往復する時間の求め方を問う問題の正答率は44.1%と市の平均より8.3ポイント低い。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>・実験を通して、実感したものはしっかり定着している傾向がある。しかし、実験の仕方や正しい実験方法については、教科書を確認しながら行っていたため、その場ではできていても知識としては定着していない傾向がある。今後は、どうしてそのような方法で実験するのかという理由を考える活動を充実させることで、思考を伴った理解に結び付けていきたい。</p>
生命・地球	<p>本校の平均正答率は、市の平均と比べてやや低い。</p> <p>○食べ物を通した動物と植物の関係を説明する問題の正答率は91%と市の平均よりも3.2ポイント高い。</p> <p>●いすに座った人を地球に、電灯を太陽に見立てていることを指摘する問題の正答率は68.5%と、市の平均より12.8ポイント低い。</p>	<p>・身近な生活と関係しているものは理解しやすいが、変化が見えにくいものや、規模が大きくてイメージしにくい事柄については、理解しにくい傾向がある。今後は、実験を通して実感できるように、実験器具を活用するなど見える分かる工夫を授業の中に取り入れていきたい。</p>